

日本近代文化・近代文学演習Ⅰ

科目ナンバリング JLT-309
選択必修 2単位

康村 諒

1. 授業の概要(ねらい)

この演習は、日本文化(アニメーション)を主テーマにゼミナール形式で行います。

授業は、受講者の発表を中心とし、発表者その他の受講者との質疑応答、受講者全員での討議などで進めていきます。受講者は、関心のあるテーマを選び、先行研究を読み、発表を行い、レポートを作成することによって、研究方法を身につけ、文章の作成能力を高めます。取り扱う主テーマはアニメーションですが、学生の興味に応じて、周辺テーマへの変更や調整は可能です。

テーマの例として、アニメの歴史、マンガの歴史、映画監督論、プロデューサー論などが考えられます。

2. 授業の到達目標

自分でテーマを選び準備・発表し、その内容に対して討議することによって、自分の考え方を鍛える。
アニメーションや映像文化に関する理解を深め、思考能力と分析力を高める。

3. 成績評価の方法および基準

レポート(小論文)(50%)、平常点(授業への積極的な参加)(50%)の総合評価。
一定数以上の欠席があれば、単位は認められません。

4. 教科書・参考文献

教科書

特に指定しません。プリントを適宜配布。

5. 準備学修の内容

①発表の事前準備(テーマの選定、文献の整理)。

②他の学生の発表後の積極的発言の用意。

6. その他履修上の注意事項

できるだけ多くのアニメーション、映画・映像芸術に触れてください。

7. 授業内容

- 【第1回】 ガイダンス。自己紹介。
- 【第2回】 研究方法・資料の探し方・論文作法・発表割り当て。
- 【第3回】 各人の発表・質疑応答。
- 【第4回】 各人の発表・質疑応答。
- 【第5回】 各人の発表・質疑応答。
- 【第6回】 各人の発表・質疑応答。
- 【第7回】 各人の発表・質疑応答。
- 【第8回】 各人の発表・質疑応答。
- 【第9回】 各人の発表・質疑応答。
- 【第10回】 各人の発表・質疑応答。
- 【第11回】 各人の発表・質疑応答。
- 【第12回】 各人の発表・質疑応答。
- 【第13回】 各人の発表・質疑応答。
- 【第14回】 各人の発表・質疑応答。
- 【第15回】 まとめ。レポート提出。